

スコアシート		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質・性能</b>						<b>3.2</b>
<b>Q-1 室内環境</b>			<b>0.32</b>			<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	-	-	<b>3.0</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	
<b>1.2 遮音</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
<b>1.3 吸音</b>		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.7</b>	0.35	-	-	<b>2.7</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>3.5</b>	0.50	-	-	
1 室温設定		3.0	0.30	3.0	-	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.20	3.0	-	
4 ゾーン別制御性		4.0	0.50	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	
7 時間外空調		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>2.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
<b>2.3 空調方式</b>		<b>2.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.8</b>	0.25	-	-	<b>2.8</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
<b>3.3 照度</b>		<b>2.0</b>	0.15	-	-	
1 照度		2.0	1.00	3.0	-	
2 照度均斉度		-	-	-	-	
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-	
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.3</b>	0.25	-	-	<b>3.3</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>4.0</b>	0.50	-	-	
1 化学物質汚染		F☆☆☆☆を床・壁・天井・天井裏面積のほとんど(70%以上)に採	4.0	1.00	3.0	-
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>		<b>3.6</b>	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		5.0	0.33	3.0	-	
4 給気計画		-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>		<b>1.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		1.0	0.50	-	-	
<b>Q-2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.2</b>	0.40	-	-	<b>3.2</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1 広さ・収納性		事務室9.55㎡/人	4.0	0.33	3.0	-
2 高度情報通信設備対応			2.0	0.33	3.0	-
3 バリアフリー計画			3.0	0.33	-	-
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>3.6</b>	0.40	-	-	
1 広さ感・景観			3.0	0.33	3.0	-
2 リフレッシュスペース		リフレッシュルームがあり、そこにビリヤード、ダーツ等のゲーム機	5.0	0.33	-	-
3 内装計画			3.0	0.33	-	-
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.31	-	-	<b>3.0</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48	-	-	
1 耐震性			3.0	0.80	-	-
2 免震・制振性能			3.0	0.20	-	-
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>3.0</b>	0.33	-	-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.29	-	-
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.12	-	-
3 配管・配線材の更新必要間隔			3.0	0.29	-	-

<b>3 対応性・更新性</b>			2.8	0.29	-	-	2.8
3.1 空間のゆとり			2.4	0.31	-	-	
1 階高のゆとり			2.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース			3.0	0.22	-	-	
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.38	-	-	3.7
1 生物環境の保全と創出	周辺環境を生かしたビオトープを設置し適正な管理を行っている		5.0	0.30	-	-	5.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	敷地面積の30%以上を緑化。風を導くよう建物形状を雁行させた		4.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							<b>3.3</b>
<b>LR-1 エネルギー</b>				0.40	-	-	<b>3.5</b>
1 建物の熱負荷抑制	事務所のERR=17.3		4.0	0.05	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			5.0	0.27	-	-	5.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	トップライト、雨水利用システム採用		5.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	太陽光発電、屋上緑化の自動灌水システム		5.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			3.0	0.41	-	-	3.0
4 効率的運用			3.0	0.27	-	-	3.0
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	1.00	-	-	
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>				0.30	-	-	<b>3.1</b>
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.6	0.60	-	-	
1 雨水利用システム	雨水利用システム採用		4.0	0.67	-	-	
2 雑排水利用システム			3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材			3.0	0.85	-	-	3.0
2.1 資源の再利用効率			3.0	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率			3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率			3.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	使用木材は国内の間伐材加工木材		4.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料			3.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用			3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性			3.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避			3.3	0.18	-	-	
1 消火剤	ハロン消火剤は未使用		4.0	0.33	-	-	
2 断熱材			3.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
<b>LR-3 敷地外環境</b>				0.30	-	-	<b>3.2</b>
1 大気汚染防止	Nox、Sox、ばいじんの発生源濃度が排出基準値から大幅に抑制し		4.0	0.15	-	-	4.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			5.0	0.15	-	-	5.0
2.1 騒音	規制基準値に定める現行の基準値より大幅に下回っている		5.0	0.50	-	-	
2.2 振動	規制基準値に定める現行の基準値より大幅に下回っている		5.0	0.50	-	-	
2.3 悪臭			-	-	-	-	
3 風害、日照障害の抑制			3.0	0.15	-	-	3.0
3.1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制	広告バックライト方式。グレアについて影響なし		4.0	0.10	-	-	4.0
5 温熱環境悪化の改善			2.0	0.30	-	-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.15	-	-	3.2
6.1 雨水処理負荷抑制	雨水貯留槽設置		4.0	0.25	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
6.3 交通負荷抑制	駐車・駐輪スペースの十分な確保		4.0	0.25	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷			2.0	0.25	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		事務所	工場	-	-	面積積分 総合スコア
		524 m <sup>2</sup>	2906 m <sup>2</sup>	-	-	
1	建物の熱負荷抑制	4.0	-	-	-	4.0
3	設備システムの 高効率化	4.0	-	-	-	4.8
	ERRIによる評価		5.0	-	-	
	個別設備による評価					
3.1	空調設備	3.0	-	-	-	-
3.2	換気設備	5.0	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	5.0	-	-	-
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	-